

紙のまちランキング2020

17

年連続日本一!

『経済センサス-活動調査』(2020年実績)

四国中央
BEST
PAPER CITY
SINCE 2004



「紙のまちランキング」とは、総務省統計局が公表している「経済センサス-活動調査」のうち、「パルプ・紙・紙加工品製造業」の製造品出荷額等が多い順に、本市がランキング形式でまとめたものです。平成16年の市町村合併以降、本市はこのランキングで日本一の座を守り続けてきました。そして昨年12月に公表された最新の調査結果で、17年連続で日本一を達成しました。

紙のまち四国中央

その昔、楮・三桠が自生していたことや豊かな水源を背景に手漉き和紙作りが行われていたこの地は、その後、機械抄紙技術の導入に成功したことで、四国を代表する工業都市として発展してきました。やがて、幅広く紙関連企業が集積する「産業クラスター」が形成されていき、日本有数の紙産業都市、「紙のまち四国中央」が誕生しました。

激動の2020

この年から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界経済に大きな影響をもたらしました。それは、本市の地場産業である紙産業も例外ではありませんでした。

各種イベントの中止やテレワークの推進により、印刷・情報用紙の需要が大きく低下しました。

しかし、衛生面の意識が向上したことで増加した、ペーパータオルやウェットティッシュ、またマスクなどの衛生用紙の需要や、巣ごもりによる通販需要の高まりにより増加した板紙の需要に、各社が迅速に対応していきました。

その結果、2020年の「パルプ・紙・紙加工品製造業」の製造品出荷額等は、約5003億円となり、5年連続で5千億円を超え、合併以降17年連続で日本一を達成しました。

問い合わせ先

産業支援課 28・6186